

令和4年12月21日

南砺市長 田中 幹夫 様

福光地域 地域づくり協議会
会長 水口 幹夫西太美地域づくり協議会
会長 柴 健壽**R04-033-001
行革推進係****公共施設再編に関する「イオックスヴァルト」存続の要望書**

日頃より、当福光地域の西太美地区の要望に関して、ご配慮いただいておりますことに深く感謝申し上げます。

今般、西太美地区内にあります「イオックスヴァルト」が、先般開催されました南砺市地域づくり協議会理事会及び全体会で、令和4年度の再編重要施設の中の一つとして当局から示されました。今回の提示をお聞きしまして、大変困惑いたしております。スキー場と宿泊施設、レストランは一体で相乗効果があると考えています。コロナ禍とはいえ、年間10～12万人のスキー客が利用されています(ピーク時は約20万人が利用)。また石川県からのお客様はこのうちの6～7割であります。この状況を鑑みまして、当西太美地区といたしまして存続をお願いするものです。

この施設は、当地区内にありますイオックスアローザスキー場の開設に合わせて整備され、約30年間に渡り、当地区の住民が中心となり運営してきているものです。経営的理由や近年の社会情勢等により、スキー場エリア内の民間の宿泊施設の廃業や休業により、今現在「イオックスヴァルト」が唯一の宿泊施設として、またスキー客やグリーンシーズンの休養の施設として無くてはならない施設となっています。コロナ前には、年間約1万5千人の利用客がありました。また雇用につきましても、現在、20歳代や30歳代の地元正規職員や地元から10人以上のパート職員が就労している現状です。特にこの施設は設立から合併以降の今日に至るまで、市からの指定管理料を0円として運営してきており、市当局による適切な修繕の対応により何とか維持してきた施設であります。よって現在まで十分な利益積立もない状況であり、むしろコロナ禍により赤字の状況が続いており、譲渡を受ける財力も全くない状況です。

つきましては、この現状を十分にご理解いただき、再編対象ではなく従来の指定管理による施設として存続をしていただきますよう切に要望いたします。

南砺市医王山麓の将来図

一流の田舎を目指す 城端スマートIC、福光ICからオールシーズン利用できる医王山麓へようこそ
加越能飛驒エリアの周遊観光コースの起点

